

2020年5月31日（日）

主 題：「人生を強く生きる秘訣」

—内なる人が鍵—

テキスト：エペソ人への手紙3章14－21節

はじめに

・人間というものは、じつに不思議です。不思議と言いますのは、自分の中に2人の自分がいるということです。それは：

- 1) 外側の自分（外なる人）⇒ 外面から見える
- 2) 内側の自分（内なる人）⇒ 外面から見えない

・そして、その二つの間では葛藤をかかえることがあります。

正直に生きる人は、自分の内に戦いがあり、葛藤があり、悩みがあります。

① **戦いのひとつは、自分との戦いです。**例えば、私たちは聖書を読んでいます。そして、善を行うことの大切さも知っています。知ってはいますが、それができていない私がいるからです。

・家族や友人に証をしたいと願っても、それができてない自分を知っています。ですから、自分に葛藤があります。パウロは言いました。

ローマ人への手紙7章

7:18 私は、自分のうちに、すなわち、自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。

私には良いことをしたいという願いがいつもあるのに、実行できないからです。

パウロという偉大な器でさえ、自分との戦いがありました。

② **もうひとつの戦いは、他人との戦いでもあります。**

世の中で、最も悲惨のことのひとつは戦争です。戦争を賛成する人は、誰もいないでしょう。戦争は人の命を奪うだけではありません。戦争によって、社会は崩壊し、人の心も崩れてしまいます。幸いなことに、日本は第2次世界大戦以降、恐ろしい戦争はしていません。

・戦争や紛争のような大きな事だけでなく、時には誤って攻撃を加えてしまうことがあります。たとえば、電話やSNS通信等で流れるニュースは、相手の状況を加味せず、一方的にやってきます。小さなことですが、受ける側は被害者となります。音の暴力、言葉の暴力、文字による暴力等、数え上げれば多くあって、それらが人と人との間の問題となるのです。

・皆さん！ 現在、私たちはこのような多くの（避けることが困難）戦いの中で生きています。では、そのような時代に、どう生きればよいでしょうか。それは内側の自分が鍵を握っています。

・外側の自分は、内側の自分の現れにすぎません。外側の自分を支えているのは、内側の自分であることを覚えてください。外なる人は時間とともに老いていきます。しかし、聖書はこう語っています。

エペソ人への手紙

3:16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

そうです。内なる人は強くされるのです。

- ・今日は、ペンテコステ日（聖霊降臨日）で記念すべき聖日です。
そこで私は、このテキストから「内なる人」について考えてみたいと思います。 2点

大切なポイント

1. 内なる人の特性

- ・外側の美しさもすばらしいものです。しかしながら、人の本当の魅力は、内側から出るものであること知ってください。ここで大切なことは、
⇒ 聖書のいう「内なる人」とはどんな人かです。
- ・それは肉の私ではありません。イエス・キリストによって、「新しいいのち」をいただいた人のことです。聖書が語る「生まれる」とは、肉体的に生まれることを意味するのではありません。それは；
 - ① 罪の性質をもつ自分がイエス・キリストとともに死に、
 - ② イエス・キリストとともに埋葬され、
 - ③ イエス・キリストとともによみがえり（復活）新しくされた人です
⇒その人こそ「新しく生まれる人」です。
- ・これは、イエスをキリスト（救い主）と信じる者に与えられる特権です。ただ信じるだけで与えられるのです。素晴らしい！
では、その人にはどんな特徴があるのでしょうか。

1) 内なる人は日々新たにされる 2点

4:16 ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。 IIコリント

- ・人間にとって最も辛いことのひとつは、食べ物が無いことです。イスラエルの民は、かつてエジプトで奴隷の身でした。神は指導者モーセを立てて、その民をエジプトから出し、約束の地カナンへ向かわせました。ところが、し旅の途中で、彼らは食物がなく困りました。
- ・その時、イスラエルの民はモーセに対し、不満の声を上げました。神は民の願いにお答えくださり、日々天からマナ（パン）を与えて養われました。それは神の奇跡でしました。民はそれによって生きることができ、新しい力をいただき、日々強められました。
- ・彼らが神を見上げた時、上からマナが与えられ力を受けました。マナによって、イスラエルの民は日々、生き延びることができたのでした。神が与えてくださったパン（マナ）によって、彼らは生き続けることができました。
- ・これは、現代の荒涼とした時代に生きる私たちも、神は「いのちのパン」であるイエス・キリストを与えられました。私たちは霊的に、「いのちのパン」を食して生きるのです。イエスはこう言われました。

6:35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。 ヨハネ

- ・いのちのパンをいただく人は、日々新たにされていきます。

5:17 ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

2 コリント

内なる人の特徴は何でしょうか。

2) 内なる人は成長する

- 聖書は次のように語っています。 コロサイ人への手紙
 - 3:9 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、
 - 3:10 新しい人を着たのです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け、真の知識に至ります。
- 人は、食物をとることによって成長します。神を信じるクリスチャンの成長を、パウロは小さな子どもが乳を飲み、次第に成長する過程にたとえました。
 - 1 コリント 3章 2－3 節
 - 3:2 私はあなたがたには乳を飲ませ、固い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。
 - 3:3 あなたがたは、まだ肉の人だからです。あなたがたの間にはねたみや争いがあるのですから、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいることにならないでしょうか。
- ここで幼子が、「乳」から次第に「離乳食」、「平常食」、そして「固い食物」をとるように成長することが、大切であることが教えられます。生き物の特徴は、成長にあります。生物は、エネルギー源となる食物を取ることによって、成長していきます。
- キリスト者も然りです。聖書のみことばは、私たちの内なる人を成長させてくれます。
 - {例 話}
 - 私の妻の家は和歌山にありますが、その家の庭には「キウイフルーツ」の木が植えてあります。冬季[1, 2月]には、思い切って選定（カット）します。春になると、そこに新芽が出できます。私はある時、あれだけ大胆に枝を切り落としてしまったから、木は死んでしまったのでは、と思ったことがありました。
 - ところが、木は死んでいませんでした。中には命があったからです。命がある木は、外側は枯れているように見えても、時が来れば必ず芽を出します。⇒ なんとという喜びではありませんか
 - ですから、「内なる人」がいのちを持っているならば、強いのです。では、どうすれば「内なる人」が強められるのでしょうか？

2. どうすれば内なる人が強められるか

1) みことばによって強められる

- エペソ人への手紙
 - 3:18 すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほど であるかを理解する力を持つようになり、
 - 3:19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。
- 詩 篇
 - 119:103 あなたのみことばは私の上あごになんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。

119:105 あなたのみことばは私の足のともしび私の道の光です。

119:114 あなたは私の隠れ場私の盾。私はあなたのみことばを待ち望みます。

- ・どうすれば「内なる人」が強められるのでしょうか。

2) 祈りによって強められる

6:18 あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。エペソ

4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。ピリピ

4:2 たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。コロサイ

- ・このように神のみことばと、神への祈りは、私たちの内なる人を強めてくれます。
- ・どうすれば「内なる人」が強められるのでしょうか。

3) 信仰によって強められる

エペソ人への手紙3章

3:17 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。

- ・これはイエス・キリストが、信じる者の内側に住んでくださる（内住）ことを意味します。人が強められる秘訣、それはイエス・キリストが内にお住みくださることです。

{例 話} <義 光 教 会> (228教会)

- ・私が、台湾から日本への最後の引き揚げ船で帰国したのは1946年の秋でした。その翌年2月28日、台北では「228事件」が起きました。この事件は2月28日台北で、密輸たばこを売っていた婦人が取り締まりを受けたことに端を発しました。
- ・そのころ台湾社会は乱れ、人々の生活は苦しく、このような商売をしなければやっていけませんでした。取り締まりの官吏は、この婦人のたばこを没収しました。それだけではありません。彼女のお金もすべて取り上げたのです。彼女はお金を返してくれるよう嘆願しましたが、その彼女に対して、官吏は銃で殴りつけました。
- ・血を流す女性を見た人々は官吏を取り囲み、怒りをあらわにしました。官吏は恐れあわてて発砲し、一人の人が玉にあたり死亡しました。やがて人々の怒りは政府に向けられ、それが大きな反政府運動となり、台中、高雄、台南、台東と台湾全土に広まったのです。これが228事件です。
- ・そのころ裁判官・医師・役人をはじめ日本統治下で高等教育を受けたエリート層の多数が、逮捕・投獄・拷問されました。約2万8千人が殺害・処刑されたとされていますが、正確な犠牲者数は今もって分かりません。台湾の歴史の中で、もっとも悲しい事件のひとつです。
- ・ところで私は2010年5月、台湾の義光教会で聖日礼拝奉仕をさせていただきました。この教会は、228事件を記念し生まれた教会でした。礼拝には、10年、16年も反体制派とみなされ、獄中にいたという日本統治下のエリート層の兄弟姉妹がおられました。皆、美しい日本語を話しておられました。

- 教会は常に監視され、誰が出入りしているか特高が目を見張らせた時代でした。じつはこの228教会（義光教会）がある家の地下室で、婦人と二人の子どもが殺害されました（写真説明）。しかし、やっとのこと生き延びた一人の娘さんは、その後渡米しクリスチャンとなりました。
- そして彼女の夫も信仰を持ち、今は牧師として神に仕えておられるそうです。この228教会はこのようにして誕生しました。苦しみを受けた兄弟姉妹と牧師は、私にこう語りました。「私たちは台湾国民党に対し、憎しみの思いは一切持っていません。」これは神への信仰がなければ言えない言葉です。キリストにある愛を受けた人が、はじめて人を赦せるのです。キリストにある信仰は、このように内なる人を強めて下さいます。
- 台湾では血が流された家を購入する人は、先ずいないそうです。そこで教会がこの家を買いました。私はその228教会において、礼拝説教をさせていただく特権にあずかりました。その日の礼拝は非常に恵まれました。そこには主の尊いご臨在があり、みことばがまっすぐに会衆へ届いたのです。そして、会衆の心は、主なる神に向けられました！主である神を賛美し、崇める礼拝となりました。
- どうすれば「内なる人」が強められるのでしょうか。

4) 御霊の力によって強められる

3:16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

エペソ人への手紙

- 今日ペンテコステ日です。初代教会時代、キリストの福音は御霊、聖霊の力によって著しく前進しました。イエスは言われました。

使徒の働き 1章

1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

- そして聖書はこのように記録しています。 使徒 1章

1:9 こう言ってから、イエスは使徒たちが見ている間に上げられた。そして 雲がイエスを包み、彼らの目には見えなくなった。

1:10 イエスが上って行かれるとき、使徒たちは天を見つめていた。すると見よ、白い衣を着た二人の人が、彼らのそばに立っていた。

1:11 そしてこう言った。「ガリラヤの人たち、どうして天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行くのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになります。」

- 初代教会の聖徒たちは、御霊によって強められました。神の力を経験しました。御霊にある力とは、何でしょうか。それは特別な感情、エモーション、フィーリングでしょうか。それも一部でしょう。しかし、御霊の力は、さらに大きなものです。
- マタイ福音書には次のように書かれています。
7:29 イエスが、彼らの律法学者たちのようにではなく、権威ある者として教えられたからである。

イエスは恵みと真に富むお方です。それは人間的な力ではありません。彼らは、神がお語りくださったと実感しました。イエスのことばには、権威があります。聖書はそのイエスを語っているのです。

ま と め

主 題：「強く生きる人生の秘訣」

—内なる人が鍵—

- ・ 今日、私たちはペンテコステ礼拝を迎えました。キリスト教会の始まりは、イエスが約束された聖霊降臨にありました。聖霊が神を信じる人々の上に注がれたとき、彼らは上からの力を受け強くされました。そしてキリストの教会が誕生しました。
- ・ 私たちも時代は異なりますが、さまざまな戦いの中に置かれています。戦いの中で生きるため、どうすれば良いでしょうか。それは内なる人が強められることです。内なる人が強められる秘訣は次の点です。

1. みことばと祈りによって強められる
2. 信仰と御霊によって強められる

* God bless you !